

2025 年 6 月 20 日

大阪・関西万博「未来の都市」パビリオン内 「CP コンクリートコンソーシアム」展示プレイスへの来場者数が 10 万人を突破

株式会社内山アドバンス（社長：柳内 光子）が構成員として参加している CP コンクリート（注 1）コンソーシアム（以下 CPCC）は、大阪・関西万博の「未来の都市」パビリオン内にて、CP コンクリートが実現する未来の都市の姿を体験できるアトラクション「パラレルツアー」を提供しています（注 2）。脱炭素社会への貢献を目指して開発を進めている CP コンクリートについて、来場者に知っていただく機会としています。

万博開幕以来、連日多くのお客様に CPCC の展示プレイスへご来場いただき、6 月 19 日、来場者数がついに 10 万人を突破しました（注 3）。当日は、10 万人目となった来場者に記念品として、4g の CO₂ を“食べて重くなる” CP コンクリート製のひよこ等をプレゼントしました。



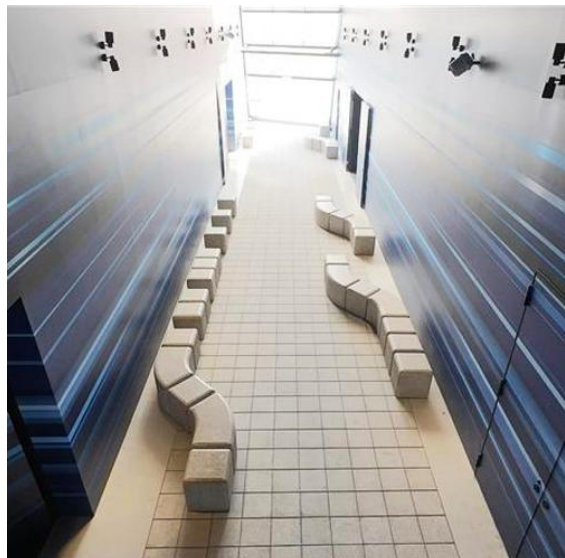
当プレイスのアトラクションを体験した来場者からは、「パラレルツアーのストーリーが分かりやすかった」「CP コンクリートが CO₂ を吸収し、地球温暖化防止に役立つ材料だということが理解できた」等の感想をいただいています。

CP コンクリートは、CPCC 展示プレイス内の座席のほか、「未来の都市」パビリオン周辺の舗装やベンチ、屋内のコリドールの床版ブロック、ベンチにも活用されています。

CO₂ を吸収・固定する特徴を持つ「CP コンクリート」を、ぜひ万博の会場でご体感ください。



展示プレイス内 座席



「未来の都市」パビリオン内ベンチ



「未来の都市」パビリオン エントランス前の舗装とベンチ

注1：CARBON POOL コンクリートの略。セメント焼成工程などで発生する CO₂ をコンクリート由来の産業廃棄物に固定化させ、コンクリート材料として再利用する地域内循環を構築します。さらに新たな技術を用いて CO₂ を最大・最速に吸収固定したコンクリートは、セメント焼成工程などで発生する量を上回る 310～350kg-CO₂/m³ の CO₂ を固定・削減することでカーボンネガティブを実現します。

CP コンクリートの開発は NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）によるグリーンイノベーション基金の委託事業です。

注2：CP コンクリートコンソーシアムは、大阪・関西万博 未来社会ショーケース「フューチャーライフ万博・未来の都市」にブロンズパートナーとして協賛しています。

CP コンクリート コンソーシアム公式ウェブサイト

<https://carbon-pool.com/>

CP コンクリート コンソーシアム公式 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/@carbon-pool>

注3：CP コンクリート コンソーシアム調べ 期間：2025 年 4 月 13 日～6 月 19 日

(参考)

- ・ 未来の都市 | EXPO 2025 大阪・関西万博公式 Web サイト
<https://www.expo2025-futurecity.jp/>